

よりよきTTL制作者の要件とは何でしょう。
 スタッフを求めるとき、何にポイントを置きますか。育成はどのようにされますか。
 一人前になるのに、どのくらいの歳月が必要ですか？
 新春早々企業訪問を受けた際に矢継ぎ早にQが飛んできました。

改めて考える。
 いつも考えていた。

答えは…。

- 引き出しの数。アクセスが容易な引き出しの数。
- 正しい日本語を使えること。
- たくさんの経験。回り道。
- 昨今は英語力。
- 豊富な知的好奇心。
- まちがった「てにをは」に気持ちの悪さを感じる感性。
- 問題解決能力。
- 決断力。
- 決して表に出ることはなく、誰かの下支えとして能力を投影することに喜びを感じる。

人が言葉を使ってコミュニケーションをしつづける限り、私たちTTLスタッフの連綿とした営みは言語の東西を問わず今日も続いています。



代表取締役
 中山雅美

◆音から言葉へ、そしてグローバルなコミュニケーションへ◆

私たちが景色を眺めるとき、実は視界に入っているすべてのものを記憶しているのだということを聞いたことがあります。その全部の中から、印象に残ったものにだけ「索引」を付けて、後からすぐに思い出せるようにしている。だから特定のものを覚えていたように思うのだと。

音を聞くときも同じだそうです。耳に入ってくるすべての音の中から「言葉」や「音楽」のような意味のある部分を取り出して認識、記憶するのですが、ともあれ聞こえてくる音はすべて処理されているらしいのです。だから、騒音の中にとるとストレスになるのだそうです。

なるほど、テープおこしの制作工程を見ていると、音の中から言葉を拾い集めることの難しさを感じます。意味ある塊としての言葉をたくさん知らないことには、音はどこまで行っても音でしかありえません。その音を言葉にする源泉が、周辺資料であり、そして何よりも知識であるわけです。アドレスには設立以来、何万時間という「音」が届けられ、そこから無数の「言葉」がつかわれ、知識財産として蓄積されてきました。

ところで、現在の世の中は、知識についても、多様化が加速度的に進んでいる一方で、同時に逆方向、つまりグローバル化といういわば標準化にも進んでいます。アドレスは、多様微細に分化した専門分野を追いかけ、同時にもう一方で、そうした隔たりを横断した英語によるコミュニケーションにも対応してきました。ことに英語の「音」を「言葉」としてつむぐ量は、年を追って倍増中です。今、その中から取り出されたvocabularyが、また新たな「言葉」の財産としてアドレスを満たそうとしています。

取締役 営業部長 中山 務



2007.02.14

ADDRESS VOICE No.33

～守れ日本の美風！チョコにしかもう義理はないぞ号～

ADDRESS PLUS 〒921-8147 金沢市大額1-342-3
 TEL.076-298-8585(代) FAX.076-298-7665
 URL:http://www.adrs.co.jp/ E-mail:office@adrs.co.jp

hed,-peit], n. のろま。
 ed, a. 愚鈍な, のろまな。
 ad-dress [ə'dres], n. ① 話しかける。演説; 請願, 提案。② 住所, 所番地; あて先。③ 応対, 話しぶり。④ 手ぎわ, 巧妙。⑤ 愛, くどき。⑥ 【法】 判事解任要請。⑦ the A- (イギリス議会の) 勅語奉答文, funeral ~ 弔辞, opening (closing) ~ 開(閉)会の辞 change of ~ 住所変更, man of ~ 応対のじょうずな人, address book ~ 名刺集 give (deliver) an address ~ 演説する, inaugural address ~ 開会演説 one's addresses to a lady ~ 女性への求婚, with address ~ 丁寧に。

—, vt. ① 話しかける; 演説する。② 言い寄る, くどく。③ 宛てる。④ 従事する。⑤ 【法】 請する。～ her as Mary



バレンタインデースペシャル 2007

かつて職場の先輩に、日頃お世話になっている感謝を込めてチョコを贈ろうと思い、デパートで買ってプレゼントしました。ところが、お返しに頂いたのは何とご本人お手製のケーキだったのです。確かに料理が趣味とは聞いていたけれど、まさかケーキまでレポートリーに入っていたとは！でも、それって私の立場はどうなんでしょう。やはり女の子としては、こちら手作りすべきだったのか？いや、そんなアヤシイ代物をプレゼントするより、市販のチョコで正解だったはず…と、ケーキはとてもおいしかったのですが、心は千々に乱れた私でした。

TTL事業部 北本

去年のバレンタイン、保育園の年少さんだった長男をお迎えに行きました。彼はわたしの顔を見るなり「~ちゃんにチョコレートもらった♪」とうれしそうに報告していました。わたしはびっくり。チョコレートのやりとりって小学生ぐらいからやるものだと思っていたのに、今どきはずいぶん早いんですね。..もうそんなに大きくなったのね、と母としてはうれしいうようなさみしいような。..さて、彼の今年の成果はどうなのでしょう？本人よりも母のほうがドキドキだったりして。

TTL事業部 寺田

ホストファミリーを訪ねたカナダでバレンタインデーを迎えたことがあります。大好きなパパにチョコレートを作ってあげようと、実はこっそりキットを日本から用意していました。

ところが、チョコレートを作ってあげるよと喜び勇んで伝えると、甘いものが苦手なパパは「チョコレートは嫌いなんだ」。その素振りには、「そんなイベントに踊らされるなんてまっぴらごめんだ」というニュアンスさえ見て取れます。

..それでも、せっかくだからと作ってみると、「おいしい！」とママに思いのほか、大好評。しかし、これって、ただの..ま、でも、終わりよければすべて良し、のバレンタインデーでした。

TTL事業部 高平



中学生時代、思春期ド真ん中の2月14日朝。いつもよりも早く目が覚めて、そわそわした気持ちで登校。「好きなあの子はチョコをくれるのか？」「そもそもチョコはもらえるのか？」考えるのはそんなことばかり。学校に着くやいなや人目を確認して、まず下駄箱の中を要チェック。何も無い…。この時点ではまだ余裕。

とりあえず気持ちを落ち着かせ、部活の朝練へ。早々に切り上げて教室に行き、さりげなく、さりげなく引き出しの中を要チェック。ない…。まだまだ余裕。授業は完全にうわの空、休み時間はなるべく一人の時間を作って待ち構えるものの(ここがポイント)、だれも来ない…。

夕方の部活にも身が入らず、こみ上げてくるのは寂しさばかり。ふてくされて帰ろうとしたところ、ロッカーの中には小さなチョコとメッセージが♪。嬉しさのあまり叫びだしたくなる気持ちをぐっとこらえつつ、帰りは鼻歌&スキップで帰りました♪今となっては恥ずかしくも懐かしい、バレンタインの思い出です。

TTL事業部 相京



バレンタインデーといえばチョコレート。人でごったがえすチョコレート売り場を見ると「今年もやってきたな」と人ごとのように感じますが、そういう私も人にあげたりもらったり、何らかの形でバレンタインデーを楽しんできたように思います。

繁忙期のアドレスでも、ほっと一息チョコレートを口にしてまた仕事を頑張るといった姿がよく見られます。日常でも元気をくれるチョコレートですが、甘い思いが詰まったチョコレートを渡されるのは 格別でしょうね！いいなあ！！

営業部 平

過去、バレンタインといっても、友達が型に流し込んでくれたハートのチョコレートや、妹の作ってくれた立派なケーキを分けてもらって、まるで自分が作ったかのように「これ、食べて♪」とプレゼント。

「すごいね！！どうやって作ったの??」の言葉に少々心を痛めながらも自分のお手柄にしておりました(^_^)

今年こそは自分で手作りしてみようかなあ…

業務部 橋本

恋をしなくちゃと最近思います。彼氏がいるいないじゃなくて、好きな人がいるってすごく大切。ときどきして怖くて苦しいことも多いけどやっぱり楽しい。好きな人が自分の気持ちにこたえてくれたらと想像すると、告白もしていないのにうきうきして、頭の中にどんどん楽しいストーリーができ上がってしまいます。だから、やっぱり恋がしたい。

とかいいつつ、毎年、バレンタインデーは気づいたら過ぎ去ってしまっています。今年こそは恋を、好きな人を！告白以前の問題で悩んでいる私です…。

TTL事業部 岩田